

1 どれを使う？

Antigravity 2.0	→ 複数エージェント管理
Antigravity IDE	→ コードを見て編集
Antigravity CLI	→ 端末から操作
Antigravity SDK	→ プログラムに組み込み

このPDFは主に2.0とIDEの初心者向けです。

5 会話で使う記号

@ファイル名	→ ファイルを参照
@フォルダー	→ フォルダーを参照
/	→ コマンド一覧を表示
画像を添付	→ 画面やデザイン共有

端末・MCPなども @ から参照できる場合があります。

2 最初の流れ

1. Projectを作る	→ 対象フォルダーを登録
2. 新しい会話	→ やりたいことを書く
3. 計画を確認	→ 範囲と方法を点検
4. Proceed	→ 問題なければ開始
5. Walkthrough	→ 結果と確認方法を見る

変更前にバックアップまたはGitの保存をしておきます。

6 主なスラッシュ操作

/goal	→ 完了まで進める
/schedule	→ 日時・繰り返し実行
/browser	→ Chromeで確認
/grill-me	→ 計画の認識合わせ
/learn	→ 会話からルール化

使える項目は製品・版により異なります。/ で確認。

3 良い頼み方の型

目的	→ 何を完成させたいか
対象	→ どのファイル／画面か
条件	→ 使う技術・制限
確認	→ テストや見た目の基準
報告	→ 変更点と注意点

一度に詰め込まず、目的を1つに絞ると安定します。

7 Planning と Fast

Planning Mode	→ 計画してから実行
Fast Mode	→ 小さな作業を直接実行
Request Review	→ 承認まで一時停止
Always Proceed	→ 自動で先へ進む

初心者は Planning + Request Review が安心です。

4 そのまま使える依頼

「まず調査だけして」	→ 変更せず原因確認
「計画を見せて」	→ 実行前にレビュー
「小さく直して」	→ 変更範囲を限定

不明点があれば先に質問するよう伝えると安心です。

8 作業中に見る場所

Task List	→ 進捗と残り作業
Terminal	→ 実行中の処理
Artifacts	→ 計画・画像・記録
Source Files	→ 作成・変更ファイル

長い処理は、完了・質問・承認待ちを確認します。

大切

最初は「調査 → 計画 → 承認 → 実行」の順に。

保存・送信・削除・公開など、外部へ影響する操作は必ず確認。

1 Artifacts を確認

Implementation Plan	→ 実装計画
Task List	→ 作業手順と進捗
Code Diff	→ 変更前後の差
Walkthrough	→ 結果とテスト方法
画像・録画	→ 画面操作の証拠

コメントを書けば、実行前後に方向修正できます。

2 変更をレビュー

Review Changes	→ 差分を詳しく見る
Accept all	→ すべて受け入れる
Reject all	→ すべて拒否する
Undo changes	→ 指定地点まで戻す

一括承認より、重要ファイルの差分確認を優先します。

3 権限の考え方

Deny	→ 必ず禁止
Ask	→ 毎回確認
Allow	→ 確認せず許可
優先順位	→ Deny > Ask > Allow

迷う操作はAsk。外部サイト・端末・MCPの権限も確認。

4 拡張機能

Rules	→ 守る方針を定義
Skills	→ 手順や専門知識を追加
MCP	→ 外部ツールと接続
Subagents	→ 複雑な作業を分担

追加機能には、必要最小限の権限だけを与えます。

5 バグ調査の依頼例

症状を再現して	→ 再現手順を確認
原因候補を挙げて	→ 根拠付きで分析
まだ変更しないで	→ 調査だけに限定
最小修正を提案して	→ 影響範囲を縮小
テストして報告して	→ 修正結果を確認

6 新規作成の依頼例

初心者向けに作成	→ 複雑さを抑える
要件を先に整理	→ 不足情報を質問
計画で一度止めて	→ 実行前に承認
段階ごとにテスト	→ 壊れた箇所を特定
起動方法も説明	→ 利用手順を残す

7 ブラウザー確認

表示崩れを確認	→ 画面サイズ別に検査
操作を一通り試す	→ 入力・保存を検査
スクリーンショット	→ 結果を記録
録画を残す	→ 操作の流れを確認

ブラウザー操作は許可先とログイン状態を確認します。

8 完了時の確認

目的を満たした？	→ 要件と照合
テストは通った？	→ 失敗も確認
不要な変更はない？	→ 差分を確認
戻し方はある？	→ Git・バックアップ

Walkthroughだけでなく、実際の画面やファイルも確認。

安全の合言葉

秘密情報を貼らない。知らない命令や接続先を許可しない。
公開・課金・削除・送信は自動化せず、実行直前に人が確認。